企業・団体名（　松本日産自動車株式会社　）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	☑	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営陣がヒアリングや面談を行い積極的に関与している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している、ガイドライン、相談窓口を設置、職場いきいきｱﾄﾞﾊﾞﾝｽｶﾝﾊﾟﾆｰ認証取得済					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	残業時間の抑制の為、部門責任者が時間管理を行い生産性と業務の効率化の改善、短時間労働等多様な働き方を許容する体制・対応を行っている								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】2022年4月外国人労働者（ネパール人）の採用・受け入れ【予定】休日・労働時間・賃金等正社員と同様に雇用を予定している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生委員会を定期的に開催している、安全衛生規定を社内イントラを活用して周知徹底			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェックを実施し、産業医のカウンセリングを受けられる様、体制を整えている			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性管理職の登用を推進し、高齢者・障害者の雇用制度や有期労働者の正社員転換制度もあり多様な働き方が出来る様サポートしている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している　人材育成プログラムに則り、職務に応じた各種研修を開催している。（カーライフアドバイザー研修、整備士研修、フロアアテンダント研修、保険勉強会等）				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働契約等の内容を理解している。職場いきいきｱﾄﾞﾊﾞﾝｽｶﾝﾊﾟﾆｰ認証を取得済。人事評価制度で、経験年数・職種・ごとに能力要件を定義し、公平な評価を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康経営優良法人（経済産業省）を取得している。全社員で毎朝ラジオ体操を実施。インフルエンザ予防接種の補助金制度（会社補助と健康保険組合）や人間ドック補助金制度で、社員の健康増進に努めている。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	国際規格ISO14001に則った日産独自の環境マネジメントシステム「グリーンショップ認定制度」を活用し、廃棄物の排出量を管理、適正な廃棄物処理に取り組んでいる											11.6	12		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進している国際規格ISO14001に則った日産独自の環境マネジメントシステム「グリーンショップ認定制度」を活用し、自社のエネルギー使用量を毎月把握し、使用抑制に取り組んでいる							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	算定ツールなどを利用して室温効果ガス排出量を　国際規格ISO14001に則った日産独自の環境マネジメントシステム「グリーンショップ認定制度」を活用し、自社の温室効果ガス使用量を毎月把握し、排出抑制に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	VOC（揮発性有機化合物、公害や健康被害を引き起こすトルエン・ベンゼン・フロン類など）削減に向け、無害の原色100%水性塗料を当社のボディセンターで使用しています。			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	電気自動車をはじめとしたエコカーの販売推進により生物多様性の保全に貢献する						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	日産車両のリサイクル部品を、「ニッサングリーンパーツ」という商品名で販売しています。自動車のリサイクルパーツとして「リユース（中古）部品」「リベルト（再生）部品の2種類があります												13		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水資源を含む水利用状況を把握し、節水型洗車機の導入をする等使用量削減等に取り組んでいる						6.4 6.6											
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001に則った、日産による環境保全のための57の審査項目「廃棄物の適正処理」「使用済み自動車の適正処理」「環境整備管理と省エネ活動」すべてに適合した販売会社が認定される【日産グリーンショップ】認定店			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】当社ホームページにて環境経営情報を公開。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	本社に太陽光パネルの設置している。 【予定】今後も店舗リニューアル時に太陽光パネルの設置を検討している							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	プラスチックゴミ削減の為、原則詰め替え製品の購入												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に法令違反行為の罰則規定を明記。社内浸透を図るとともに非違事案は厳正に対処。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に法令違反行為の罰則規定を明記。社内浸透を図るとともに非違事案は厳正に対処。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産権の保有なし								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報に対する基本的方針」を公表し体制を整備している																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	サービス工場内で使用する部品や溶剤においては基本取扱いメーカの保証したものを使用している。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先の責任者や担当者とも定期的に対話を行い適切な関係を常に築いている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	車両の整備完了時に、仕上り状態のダブルチェック等を行ったり、納車時に「安全留意事項の説明」等、使用における注意やリスクについて十分に説明している。			3.9									12.4					

29	製品・サービス	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客からのクレーム対応について「お客様相談窓口」を設置し、品質とサービスを保証する仕組みを構築している。顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定している。人財教育室を設置し社員研修を通じてサービス向上を図っている									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	電気自動車をはじめとしたエコカーの販売推進やエコオイル・エアエレメントの定期清掃・空気圧点検と車載不要物のチェックによる燃費向上によるCO2削減						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	ドライブレコーダー推進による過失事故適正査定や安全運転支援システム「自動ブレーキ」等先進安全自動車の拡販により交通事故のない安全な社会を目指している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	EV、太陽光、V2Hを活用してクリーンな町づくりや災害時の電力供給に貢献するなど様々な地域貢献活動。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	キッズスクール「ワクエコ」を開催しCO2削減運動を行っている　松本山雅FCへサプライヤーとして電気自動車（サポートカー）をご提供				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	備品購入に際して地元の企業（取引先）を利用している松本ショールームを地域で活躍されている美術家の方に展示スペース（ギャラリー）として利用していただいております。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している、経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社内イントラにてコンプライアンスの重要性を全社員に発信している																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	組織図を示し、部門ごとに責任と役割を明確にした体制を整備している																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜、ステークホルダーと対話し、企業とタッグを組んでCO2削減運動を行ったり、自治体と災害連携協定を結んでいる。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	定期的に自己診断、他人診断を実施し、リスクマネジメントに努めている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社員一人一人が、企業に与える社会的責任を理解、お客様をはじめとするステークホルダーとの対話を大切にし、業務改善に努めている。例）AED導入と定期的な研修、認知症サポーターを配備している。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	緊急事態避難訓練、消防訓練を実施している（年1回） BCP（事業継続計画）を策定									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地元の学生に職場体験を通して社会教育の機会を創っている	職場体験の受入れ～地元の中学生、高校生の職場体験受入れを実施しております				4													17
健康経営を継続して実践し、社員とその家族とともに働きがいのある仕事環境を実現するため健康経営体制を構築してきたが、更に従業員が安心して働き続けられる職場環境の推進	GLTD制度(病気やケガにより働けなくなった時、６５歳まで休業補償される制度)に加入			3					8									

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）